

手洗い！重要です



夏風邪にご注意！ 体調管理はしっかりと

平成 30 年 8 月 15 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 32 週分・8 月 6 日～8 月 12 日)

《 インフォメーション 》

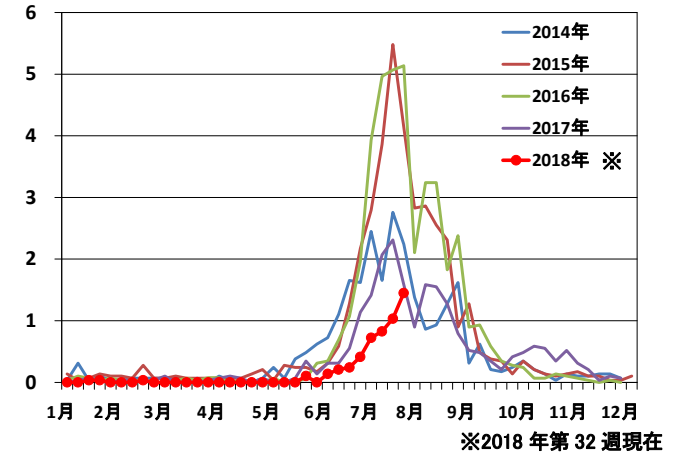
●ヘルパンギーナ

今週、県内のヘルパンギーナの報告数が定点あたり 1.45 人となり、先週 (1.03) から増加しました。この疾患は、夏季に報告数が増加する傾向があり、夏風邪の一つとして知られています。今年も報告数が、6 月下旬から増加しています (図参照)。年齢別では、患者の約 9 割が 5 歳以下となっており、小さなお子さんのいる家庭や施設では、感染予防を心がけましょう。

ヘルパンギーナは、発熱とのどの痛みを特徴としたウイルス感染症です。突然 40 度近くの高熱が出て、のどの奥、扁桃の上あたりに小さな水疱がいくつかでき、その周囲が赤くなります。水疱はしばらくするとつぶれて、潰瘍になります。これがしみて痛むことから、十分な飲食ができずに脱水状態になることがあります。熱は 2～3 日で下がり、潰瘍も 1 週間程度で治ります。症状の経過は良好な疾患ですが、発熱時にけいれんを伴う場合があります。

原因ウイルスはコクサッキーウイルスなど複数存在し、患者ののどや鼻の分泌物、便に含まれています。**症状が無くなった後も 2～4 週間は便からウイルスが検出されることがあります。** 次のことに注意して感染を予防しましょう。

人/定点 ヘルパンギーナ患者報告数の推移(富山県)



**おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には必ず手を洗う (石けんの使用は効果的)。
保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
タオル等の消毒には、希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。**

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 8 件 (①第 30 週診断分：80 歳代、女性
②～⑤すべて第 31 週診断分 ②70 歳代、女性
③～⑤すべて 80 歳代、女性
⑥20 歳代、女性 ⑦40 歳代、女性 ⑧60 歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (40 歳代、女性、O157、VT1VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 2 件 (①②ともに 70 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 件 (第 31 週診断分：80 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	3.76	4.72	↓
2 位	ヘルパンギーナ	1.45	1.03	↑
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.62	0.76	↓
4 位	流行性角結膜炎	0.57	0.29	↑
5 位	突発性発しん	0.55	0.69	↓
6 位	R S ウイルス感染症	0.41	0.21	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第32週 平成30年8月6日～平成30年8月12日）

分類	疾患	今週報告分（第32週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			2	1		3	9	10	37	14	68	138
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1		1	3	3	2	2	10	20
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症			1	1		2	1	1	5	3	20	30
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症								3			7	10
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							1			1	1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4		5	2	3	14
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	6	4	13	27
	水痘（入院例）							1		1		2	4
	梅毒									1		6	7
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											4	4
	風しん											1	1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							2,232	1,824	3,485	2,442	5,346
RSウイルス感染症		1		7		4	12	37	20	66	24	254	401
咽頭結膜熱		0.25		0.88		0.40	0.41	180	64	238	25	269	776
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	2	3		1	10	135	93	469	207	620	1,524
感染性胃腸炎		1.00	0.67	0.38		0.10	0.34	877	621	988	202	2,278	4,966
水痘		3	1	6		8	18	17	5	88	49	87	246
手足口病		0.75	0.33	0.75		0.80	0.62	3	11	33	14	108	169
伝染性紅斑		23	14	33	8	31	109	3	1	84	43	31	162
突発性発しん		5.75	4.67	4.13	2.00	3.10	3.76	46	35	146	39	113	379
ヘルパンギーナ		0.50					0.07	14	27	48	13	50	152
流行性耳下腺炎				2	1	5	16	3	6	16	3	32	60
急性出血性結膜炎				0.13		0.20	0.10					14	14
流行性角結膜炎				3	1		4	2	12	9	4	5	32
細菌性髄膜炎				1.50	1.00		0.57					5	5
無菌性髄膜炎						1	1					1	1
マイコプラズマ肺炎						1.00	0.20	2	3	5	5	7	22
クラミジア肺炎											1	2	3
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								3		4	2	7	16
インフルエンザによる入院患者（*）								51	55	39	150	96	391

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年7月分）

		7月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症	1	1	3		6	11	1	3	10		55	69
		1.00	1.00	1.00		1.50	1.10						
	性器ヘルペスウイルス感染症			1		3	4		4	3		11	18
				0.33		0.75	0.40						
	尖圭コンジローマ					1	1	2			1	9	10
				1.00	0.25	0.20							
淋菌感染症						3	3			1		12	13
					0.75	0.30							
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1			5	6	9	11	8	15	31	74
			1.00			5.00	1.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							2		12	2	5	21

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。